京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

出頭沒頭（二）　みどり

▲天には平和あり、地には榮光あり、誠に余輩は人類社會の天地が常に斯くあらんことを希望いたし居り候、併し事實は余輩の希望通りには行かず全然反對にて、ツマリ此等詩的文字の實現さるゝは一月一日かさもなくば三大祝日位の少日數に候、否な此等の少日數の間に於ても間々天の平和を破り地の榮光を棄る場合有之候

▲而して余輩は此等の天下太平的希望を抱き居る間にて一昨夜の如き大々的天の平和と地の榮光とを破壊せる火事騒ぎ等起るを思ふと轉だ悵惆の念に堪へず候、成程統監更迭問題も重大には相違無之も余輩は未だ悵惆の念に堪へずと迄心を動かさず候、何となれば火災は天災なると同時に實感的なれども統監更迭問題は情實なると同時に非實感的なるが故に候、而して前者は天災なるが故に諦めがつき、后者は情實なるが故に諦めがつかず候

▲余輩は如何なる場合に於ても公平を庶幾し居り候、十年交遊の友も之が爲めに交りを斷ち一見相識の徒も之が爲めには肝胆相許し申し候、と前置を云ひて論辨する譯には非ず候も近着の萬朝報に於ける小論文は聊かと申したきも實は大に誤見の點有之候

開は他なし、朝報子は昨今當政府が三税を施行せしため地方に暴徒起り、それが爲め多大の費用を抛つて駐劄軍を派遣せしは痛嘆の至りなりと暗涙を催ふしたることに候

▲三税施行の爲めに地方愚昧の徒が往々不服を唱へ中には日本官吏の冗費に充てんが爲めなりと憤慨するものも有之やうに聞き及び居り候が彼等は未だ以て暴徒と化し所在地方に蜂起はいたし居らず候、殊にうれが爲め態々駐劄軍を派せしといふに至つては大に謬見といはざるべからず候、つまり駐劄軍の來韓は今日に至るも其の姿を沒せざる從來の暴徒をば大々的に掃討せんが爲めに候、併し這は朝報子が何かの聞き違ひか又は机上の想像かと被存候、併しそれもこれも保護政治の方法が實以て感心いたさゞる結果なるべく候、一度罪惡を犯せば此度れたるも此奴だらうと思ふは人情の自然に候

▲本日は御承知の通り倫敦タイムス外交部チロル氏同北京通信員モリソン氏の入京すべき日に候、余輩は此の世界に於て偉大なる勢力を有し絶大なる威力を有する倫敦タイムスの記者が偶然にも突然にも朝鮮に來るに至りたるを喜ぶものに候、同時に余輩は此の兩記者の眼より見たる日本の保護政治が韓國に於て如何に施し居らるゝかを瞥見さるゝを思び憚なく被感候、思ふに曩に統監府が施政報告をタイムス社に送致したるに對し同紙は極めて禮儀ある氣品ある第三者の地位に立ち同報告を批評せしことを記臆し居る余輩はもしかな兩氏の燃犀なる眼光に依つて其の不手際の方面を看破されはせずやと憂慮いたし候、かるが故に余輩は此等の憂慮をして單に杞人の憂に終らんことを祈り居り候、南山の籠翠滴り、松風稷々神秘のさゝやきを打ち消すを得ば幸甚に候（二日午後三時記）

文苑

百人一首讀替（七）　ましこ女史投

●坂上是則
明かゝるねやのしづけさいり殘る
つきと見るまにつもるしら雪

●春道列樹
いさゝ川水あしとめてのこりたる
秋のにしきの紅葉なりけり

●紀友則
そこかして雪かあらぬか春の日は
散はつ花の季せつまたなん

●藤原興風
友ひともあの世の外にたへてなく
れひ坂さものからさきの松

●紀貫之
つくす身はいざ白雪のまつが枝に
いろもかはらづつもる故郷

●清原深養父
東かたくもまにもるゝ宵なるを
はやあけがたの夏の夜の月

新刊紹介

●家禽新報　家禽業の盛なる當節柄本誌の益々健全なるは喜ぶべし内容豊富、叙述懇切斯業に趣味を有するものゝ必讀物なり（三巻四號一部十二錢東京府荏原郡大崎町家禽新報社）

●貿易月報　本年二月中の貿易狀況を記載せしもの目次は貿易、貿易關係事項、税關報告等にして附錄には「商業所より觀たる韓國に於ける外國人就中日本人と韓國人との關係」外一項を添へあり（八號關税局纂）

●東洋時報　依例有益なる記事のみを以て埋め居れり塚本氏の「韓國談」等は本號の讀物なり（百二十八號一冊金五十錢東京麹町區内山下町東洋協會）

●銃獵界　「心機一轉と銃獵」「獵期外の覺悟」等は斯道に趣味を有せざるものと雖も讀んで面白味を感ずべし（五卷五號一部五錢横濱本町三丁目金丸銃砲店）

●警察月報　例規、四月十六日より五月十五日迄の法令、日本國法令及雜事を記載せるものなり（十號警視廳編纂）

●月報　貨幣、預金、貸出金、爲替受拂、韓國國庫、日本金庫、各地金融概況の七節に分ち詳細に記述せしものなり（四十四號第一銀行韓國總支店編纂）



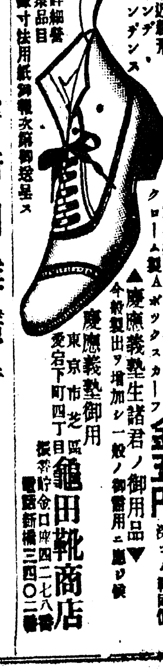
佐倉宗吾（九十七）　眞龍齋貞水講演

洋行でも致した御方は、西洋の表面の偉い所ばかりを觀て、西洋が實際金を作り、國のため盡して居る所を觀て來ない、唯大厦高樓のすばらしい所を觀て來て、日本も早く斯う爲なくつちや成らぬと、痴言を吐く人がありますが、外國のやうに日本が何もかも一新します事は出來ませぬ、日本は一種特別の神國と稱する位の、尊い國でございますから、何うしても此宗五が國に盡し村方の者を助けた心を以て、忠とか、義とか、孝とか云ふ事に付いて、一層振はなければ成らぬ今日でございます、理屈がましい事を申し上げるやうですが、茲に高崎男爵閣下は、一德會と云ふものを發表して、日本全國總体の者を、其會員として、忠孝義の三つを守つて、飽迄も精神を堅めたいと云ふ思召を茲に抱かれました、追々その一德會は、日本全國の各縣下に設けられると云ふ事でございますが、其一德會の趣意所は、何から出たかと云ふと、所謂忠と孝と云ふものは、何から出た、恐多いが、勅語の内に「朕爾臣民と偕に」と云ふ御言葉がある、其恐多い事ながら、聖天子が爾臣民と偕にすると云ふ、其廣大なる御德を能く國民が顧て、何事もせなければ成らぬと云ふ所から、愈よ一德會と云ふものを起されたのであります、此御詔勅と云ふものは、學校にては箱に納めて置つて置き、三大節か何かに之を取出して、教員先生が高らかに讀み奉るのであるが、果して生徒一同の頭へ、這入つて居るか何うか分らぬ、其時だけは、有難く拜聽するけれども、平生之を服膺して居なければ困る、殊に此勅語は學校生徒に限つて降りたのでない、明治二十三年十月三十日に、御勅語が發表されましたと同時に、國民一同に下し置かれた勅語でございます、英國では此教育勅語を拜見いたしたいと云ふので、前の澤柳文部次官が招聘され、其後を襲いで、菊地大麓先生が御出になりまして、此勅語をすつかり解釋をして講演されました、尤も此御勅語を翻譯するに就いて、我が帝國大學の學者先生が、數人協議の上で、翻譯されましたもので、英國へ往つて之を朗讀された時分には、英國の新聞は競つて之を掲げ、英國の上下は、日本の大和魂と謂ふものは斯う云ふものであるか、成程斯うなくつちや成らぬと、英國も此御勅語に基いて、大和魂を茲に發生させなければ成らぬと云つて、大に英國民から稱讚されて、有難の菊地先生も、恥かしい位に覺れたと云ふ、尊い御勅語が出て居ります以上は、佐倉宗吾義民錄を御愛讀下さる諸君も、斯樣な事を講談師が喋舌つて居るが、成程昔時は却て精神は飽迄も、忠孝義の三つに堅めてあつたと云ふ事をれ感じでございませう何しろ宗吾は、領主の壓制のため、それに連なる百姓が、孰れも困難を致して居るので、之を助けんがため、身命を擲つと云ふ程でございますから、天は照々として照し給ふに依て、滑川に於て危く目明幸兵衛のため組伏せられ、既に縄に懸らんとする所を、此滑川の名主新五郎の加勢のため、危き難を遁れまして江戸へ戻つて來て、窃に上野凌雲院樣、御手代圓珠院樣に御目通りをした時に、圓珠院樣涙を流し圓「さて宗吾よく戻りました」宗「エー是と云ふも、皆な貴僧樣の御蔭樣でございます、實に有難い事でございます、既う再び此部へ參りまして、貴僧樣に御目通りは叶はぬかと思ふ計り、途中で難儀を致しました既に私の村の渡場で、印旛沼の宗右衛門のため組伏せられまして危き所を、渡守の甚兵衛に助けられましたが、それがため甚兵衛は、可哀さうに水中に飛込み、亡き人の數に入りました、是も皆な私のため死んでくれたのでムい升



▲シガー・ブドウ酒・ブランデー・洋菓子・菓物カン詰類
シガレット・シャンピン・ウヰスキー・キリンビール・タンサン水
卸小賣　歐米雑貨　洋酒食料品　煙草類
直輸入商
京城本町二丁目　同三丁目
辻屋
本店　電話二四八番
支店　電話二六〇番

急告
今般當院に慈惠部を設け資力少なき患者十名を限り入院治療の需に應ず
但し入院料一日八十錢を越へず
龍山老松町（電話二一八番）
上田病院慈惠部

最近新形　インヂ・ペンヂンス

甲革ハ柔軟ニシテ丈夫ナルクローム製Aボックスカーフ　金五円　深ゴム靴同價
▲慶應義塾生諸君ノ御用品▼
今般製出ヲ増加シ一般ノ御需用ニ應ジ候
詳細營業品目　御寸法用紙御請次第御送呈ス
慶應義塾御用
東京市芝區愛宕下町四丁目　龜田靴商店
振替貯金口座四二七八番　電話新橋三四〇二番

醫術開業廣告
左の處に移轉し公務の餘暇を以て診療に從事す（但し正午迄）
醫學士　佐々木四方志
明治町二丁目二十一番戸（元本町巡查駐在所跡）　電話八百十二番

豫約募集
本書には統監府軍司令部師團司令部各理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各商業會議所及び韓國政府中央地方諸官衙各國領事館職員錄を併載致候
京城理事廳認可
朝鮮紳士錄
總クロース金文字入　定價一部　金五圓
豫約特價前金壹部　金參圓
申込締切期日　六月十五日
送本期日　七月十五日
登載事項
政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、教育家、宗教家、美術家、新聞記者、銀行、會社、學會、教會、寺院、協會、倶樂部組合
發行所　京城西小門通　京城新報社
豫約申込所
本町二丁目　日韓書房
本町二丁目　文林堂
新王城前　盛文堂
北署安洞　大東書館
中署廣橋東邊　滙東書館
中署罷朝橋越邊　中央書林
南大門通　義生號
本紳士錄（交詢社式）には韓國各地在住の日韓清英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の坐右に欠くべからさる要書に有之候

美術半襟帯上其他紐類各種
京城本町一丁目
金ゑり錦商店

京城新報

チロル氏モリソン氏を歡迎す

一枝の健筆能く世界を動し、一片の文章以て世界の輿論を指導する無冠の宰相、倫敦タイムスの外報主任チロル氏は對清問題の[illegible]的を以て極東に來遊せられ、先づ同盟國たる我日本を訪はれて日本の對清政策を質され、北京通信員たる清國通のモリソン氏を招き、日本政府との打合を濟まし清國視察の途次、我保護國たる韓國を訪はれんとして入城せられんとす、余輩はチロル、モリソン兩氏の視察によりて我保護政治の眞相を世界に紹介せらるゝを期待す、余輩此意味に於て滿腔の誠意を以て兩氏を歡迎するもの也。

我保護政治の現狀を目擊して如何なる視察を得らるゝやは知らずと雖も、惟ふに炬の如き兩氏の眼光は必ずや充分眞相を透見せらるべし、余輩が今更之を説く迄もなけれど、日本の韓國に於ける關係は大英國が埃及に對し佛國がチュニス安南に對する關係とは大に異る所あり、大英[illegible]素より人種の異なる[illegible]現在の境遇に於て全[illegible]みならず、優者として[illegible]きあり、爲に其指導[illegible]歷史的に於ては昔時の[illegible]然るに日本と韓國との[illegible]に輸入したる先進國た[illegible]も尚は對等の種族た[illegible]ば實力なきを忘れて[illegible]んとするの傾向あり、[illegible]以て大英國及獨佛諸國[illegible]民地に對するとは決し[illegible]るものあり、從て之を[illegible]なる苦心を要す、懷柔[illegible]勢を添へ、威壓に過れ[illegible]其間眞に寛嚴宜しきを[illegible]從は斯國民の長所也、[illegible]指導啓發する能はざ[illegible]に從順なるが如きも之[illegible]歷史は明に之を證[illegible]本は屢々事實に之を經[illegible]對して誠意誠心に善導[illegible]及在住日本人の苦心[illegible]ものあり、其言辭の巧[illegible]者は往々其眞相を誤る[illegible]の如き觀察に鋭敏な[illegible]となく、能く其眞相[illegible]余輩が兩氏に向て望む[illegible]に我保護政治の困難[illegible]しつゝあるか、而し[illegible]つゝ之を善導して保[illegible]つゝある實相に就[illegible]世界列國に紹介せら[illegible]余輩は兩氏の來遊に依[illegible]る紹介者を得たる[illegible]

●平壤市街地圖調製　平壤郵便局に於ては[illegible]市の地圖が完備せざる[illegible]學校實測の地圖に則り[illegible]圖して新闢する事となりと云ふ

●賊徒討伐彙報　江原道楊口很川分遣所憲兵二補助員五は五月十九日華西郡内に於て賊約十と衝突之を潰走せしめ銃一刀二を鹵獲す翌二十日華川楊口郡界附近に於て再び之と衝突一を殪し首魁一を捕へ銃二を鹵獲す▲全羅北道月城分遣所憲兵二補助員三は五月廿九日同地西方約二里の地に於て銃器製造中の賊約三十を討ち五を殪し銃十九其他材料器具等多數を鹵獲す▲咸鏡南道下碣隅分遣所憲兵一補助員四は五月十三日長津郡内に於て賊入と衝突之を潰走せしむ▲忠清北道丹陽分遣所憲兵三補助員六及同地巡査三は五月二十日同地南方約五里の山中にて賊約七十と衝突潰走せしむ▲江原道栗實里分遣所憲兵二補助員二は五月十九日同地東南約七里の山中にて賊十八と衝突之を潰走せしむ▲忠清北道清風分遣所憲兵二補助員四及巡査二は五月二十日同郡内にて賊約百と衝突六を殪し銃一を鹵獲す

東京電報

▲**皇后陛下行啓**　皇后陛下には本日鎌倉に行啓あらせらる

▲**副總裁の參内**　東清鐵道副總裁ウエンツエリー氏本日午前謁見仰せ付けらる

▲**伊公曾禰子の會見**　曾禰副統監は昨日大森恩賜館にて伊藤公と會見し今朝歸京せり

▲**東拓漁業方針**　東洋拓殖會社の漁業部は明年又は明後年より直營と爲す方針にて差當り仁川沖より群山沖木浦沖より釜山沖及元山沖の漁業權を獲得し個人に許す事に決定せり

▲**宇佐川總裁東京發**　宇佐川東拓總裁本日出發歸韓の途に付く（以上三日午後發）

外報一束

●**廢帝の秘密暴露**　土耳其廢帝アブダル、ハミッドは頃日召還せられたる佛國大使コンスタンス氏及び伊國大使シノウザー氏に毎月一定の金額を送り居たりといふ又伊英兩國大使に關するも暴露せられたる由

●**獨逸の對米辯解**　獨逸政府が米國政府に貸銀に關する統計を送り以て關税法案に干渉したりとの攻擊米國上院に起りたるが獨逸側にては該統計は米國政府が特に要求したるに依り之を交付したる旨公式に發表せりと

●**日米の聯合行列**　伊地知少將以下士官候補生及び水兵は米國太平洋艦隊司令官スペリー少將以下米國水兵と共に過日タコマに開催せる米西戰爭記念行列に加はり市民は熱誠を注ぎ之を喜べりと

●**道臺暗殺せらる**　劉士希道臺廣東シャミーンに於て暗殺せられたり同人は廣西省の製造業並に農業の進步を計らんが爲め米國に於て百萬弗を集め近頃歸朝したるものにして廣東海關の一幇辦銃丸を以て胸部を貫かれ居る彼の死體を發見せしものゝ如し

雜報

●**道書記官會議**（二日目）　昨三日は一昨日に引續き澤田地方局長議長席に就き各道書記官及内部關係各高等官列席の上諸問事項地方費を以て施設すべき事業に關する件、地方費賦課金の種類、賦課の程度、課率納期等に關する件に關し各書記官順次意見を開陳し午後四時閉會したり因みに當日は鈴木司税局長本田學部書記官三浦理事官桐原南部署長其他關係官廳より傍聽するもの數名ありたる由

●**東拓金融部近況**　東拓會社の金融部は貸付の申込みに對し目下調査中なるが日本の如く土地證明の方法確實ならざると鑑定に時日を要する等にて未だ一件も貸出を爲すに至らず昨日迄申込高約百五十万圓にして口數四十件ありと而して小口三千圓より大口五十万圓のものにて其の抵當物は水田多く宅地畑等は一小部分に過ぎずと云ふ

●**臨時大臣會議開會**　李總理以下各大臣は二日仁政殿に於て臨時閣議を開き長時間に亘り審議する處ありたりといふ

●**行啓ご答禮參内**　李總理以下各大臣及中樞院顧問等は韓皇后宮水原に行啓の御禮として一昨二日午前昌德宮に參内したりと

●**特許法の實施經過**　韓國に於て特許法、意匠法、商標法、著作權法の實施されたるは昨年八月十六日よりなるが爾來同法に基き日韓米人の出願せるものの四月末日迄に合計八百十九件に達したる由其内譯は特許二百十四件、意匠二十一件、商標五百七十八件、著作權六件にして既に登録濟のものは特許百五十件、商標百七十一件、意匠十四件、著作權六件なり尚國籍別は商標に於て米人六十七、特許同二、韓人特許二、同商十三、同著作權二其他は全部日本人なりと

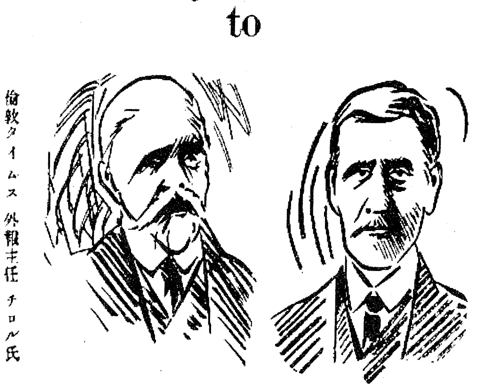
●**各地守備隊の引揚**　第十二旅團に屬する各地の守備隊は交代歸還のため近々現守備地を引揚げ來る九日頃を以て釜山に集合の手筈なるが釜山よりの輸送開始は多分十日頃よりなるべしと

●**巨智部博士慰勞金**　韓國政府は巨智部工學博士が鑛務技監として多年韓國の爲めに盡したる功勞に對し金六千圓を贈るべしと

●**タイムス記者宿舍**　倫敦タイムス記者チロル、モリソンの兩氏は今四日入京すべき筈にて其宿舍はソンタク邸なりといふ

●**辯護士名簿登錄者**　今回辯護士名簿に登錄されたる京城辯護士の姓名左の如し
辰市本丸、木尾虎之助、永井道忠、岩田仙宗、石黑行平、大久保雅彦、菅川廣濟、高橋章之助、莊子斌、岡田榮、大﨑熊之丞、白井勝悟、藤井太郎、本多潤

Hearty Welcome to



倫敦タイムス外報主任チロル氏　Mr. Chirol
北京特派員ドクトル モリソン氏　Dr. Morrison

●**修學旅行生ご講話**　山口縣高等商業學校生徒七十餘名は教員に引率され一昨二日は統監府に到り中村農務局長の農業に關する談話柳田商技師の山林に關する講話を聞きて退出したりと

●**道書記官意見書**　各道書記官は各部に對し夫れ〳〵意見書を提出したるが農商工部に對するもの左の如し
▲農事事務を道に移すこと（平安南道提出）▲度量衡法を改正實施すること（江原道）▲漁業法實施に關し當該官吏を派遣し當業者に對し之が設計を爲さしむること（同上）▲勸業的施設は特別のものを除き主管省監督の下に道廳に於て經營し以て事業の統一を圖ること（忠北道）▲模範農を選任して巡回技手の補助を與ふること（同上）▲物産陳列場を擴張すること（同上）▲國有山野の開墾造林に關しては準則を示し觀察道をして適宜箇人若くは團體と契約締結を許すこと（同道）▲新度量衡器は郡部に於て現品[illegible]（同上）▲農業改良發達の爲め巡回教師を置き智識の開發を指導すること（同上）▲南道）▲商工業の獎勵に關する事項の爲め農商工部より吏員を地方に派遣すること（同道）▲地方行政事務は重要なる事項の外は觀察道に委任すること（平北道）市場の設置移轉に關すること種苗場の監督に關する事項▲未墾地林地の貸付又は林産物拂下等の調査にして重大なるものは農商工部にて直接調査する件（平北道）▲林地貸付林産物拂下にして小地積又は少額のものは其處分を觀察道に委任すること（同道）▲營業獎勵に關し規定を設くる件（同道）▲漁業法第十條の屆出漁業は之を廢止する件（同道）▲道に技術員配置の件（同道）▲船舶に關する法規制定の件▲養蠶傳習所を本道所在地に政府事業として經營せられん事を望む（咸南道）▲農業上の進步發達を計る爲め各道各郡に簡易農事講習會を開催せしむることに訓令せられん事を望む（同道）▲道廳に連絡を要する件（全南）▲地方設置の各種團體農會設置の件（同道）▲國費を以て一大牧場を新設する件（同道）▲種苗場に試驗場的作業を增加せらるべき件（同道）▲國費を以て補助せらるべき産業獎勵及び補助程度を公表せらるゝ件（同道）▲市場開閉を道に一任する件（平南道）▲市場に關する件（平北道）▲牛市場に觀察道を派出せしむること（江原道）▲簡易なる[illegible]▲市場取締法を制定發布すること（忠清北道）▲芙江市場を文義郡所管とする事（忠北道）

●**南原地方ご新税**　南原地方は由來人氣宜からざる地方なるが同地方の鄕人は今の新税を苦痛とし總代委員を撰み廢止を觀察道廳に嘆願したりと

●**韓國政府の株券**　東拓會社にては一昨二日より當地に於て株券の配布を爲し居るが韓國政府の持株三百萬圓に對しては千株を一株券となし額面五萬圓のもの六十枚は昨三日附にて引渡し濟みとなりたりと

●**漁業紛議の裁決**　各沿岸に於ける漁業は目下最盛時季にあるより漁業者間にては漁場の區域、漁業の方法、漁業權の範圍等にて紛爭を惹起することあるを免かれず斯かる場合に於ては利害關係人の申請に依り農商工部大臣以之れが裁決を爲す筈なりと云ふ

●**農林學校規則改正**　農商工部所管農林學校の規則は昨三日の官報を以て之が改正を發表されたるが改正の要點は二箇年の卒業年限なりしを三箇年とし現在の生徒は六十人の希望に依り試驗の上此新制度の下に入り得る筈にて學課目に於ても亦多少の改正あり其他は從前の規程と大差なし

●**元山埋立工事進捗**　元山税關埠頭の埋立工事は豫定以上に進捗し本月中に一切地均しを終了する筈にて完成迄には七月一杯を要すべしと云ふ該工事竣成と同時に沿岸航路汽船の出入自由となるは云ふまでもなき事なるが現に度支部に於て設計しつゝある棧橋架設の計畫は沿岸航路船本位とするものゝ由

●**日英博覽會紀念帖**　内務省にては今般韓國審美書院より日英博覽會へ出品すべき國寶並びに特別保護建物寫眞帖五百部を發行する筈にて内三百部は日英博覽會買上高及内務省引受高等にして一部六十圓にて豫約に應じ殘り二百部は審美書院より一部七十五圓を以て豫約募集をなすべしと

●**釜山日報の一千號**　釜山日報は來る十一日一千號に相當するを以て十三日釜山座に於て紀念祝賀會を開催する由定めて盛況を呈するならん

●**桐原警視の出張**　既報の如く桐原南部警察署長は愈々明五日午前九時南大門發列車にて東上する事に決定せるが往復は約三週間なりと

●**三守備隊の移動**　咸鏡北道女貞坪分遣隊と同道黄城鎭分遣隊は五月二十八日撤去され同道左豊山分遣隊は同廿九日撤去されたりと

●**東萊輕鐵測量進行**　釜山鎭東萊間の輕便鐵道敷設は愈々實現すべき運びとなり過日來道路の實測中なるが愛兩三日中に測量を結了すべければ其結了次第出資者側の發起人會を開くと云ふ

●**天氣豫報**（自三日午後六時至四日午後六時）
南西の風晴後曇
二日　最高溫度　八八、五　最低溫度　五八、一（華氏）

●**五月下旬貿易**　關税局の調査に係る五月下旬の貿易左の如し

區別	本年分	前年同期
輸出品價	四五〇、三四六	三三八、四七〇
輸入品價	一、四〇五、八〇一	一、四七二、三二三
合計	一、八五六、一四七	一、八一〇、七九三
輸入超過	……	……

輸出重要品表

品名	本年分	前年同期
米	二〇五、八六四	一三六、二一七
大豆及小豆	九四、六一七	八七、四六六
鮮魚乾魚及鹽魚	五、六〇八	一、五〇一
棉花	……	……
牛皮	三、三二九	六、三九三
人蔘	七二	一八四
生牛	八、七三三	二八、六四四

輸入重要品表

品名	本年分	前年同期
食鹽	三、一五七	二〇、六六五
清酒	一九、七三六	二一、六五八
砂糖及精糖	二七、八八四	三六、一七七
打綿	二、三六〇	一、〇三三
生金巾	三二、三六六	一四、三三〇
シーチング	……	……
晒金巾	七、七九九	二二、〇七〇
日本木綿	三〇、九六〇	四一、七二六
[illegible]布	三八、三八六	一六、四七一
絹布	一五、三五九	三九、九〇九
煙草	三五、三四四	三二、一三六
石油	一四、一四一	一〇、〇二三
マッチ	六、六〇四	一〇、九六七
石炭	四一、六九五	三六、八七〇
木材及板	七四、三三三	九一、六三三
綿線及糸	四二、三〇八	四八、七六六
熟鐵	一四、七六五	三、一七八
セメント及石灰	三、三二七	二三、三三五
紙	一七、九〇四	一七、四三五

●**電燈事業と南浦人**　鎭南浦に於ては同地の馬場嘉層氏外數氏委員となり南浦電燈會社設立計畫中なるが此程該事業に關係ある三井物産會社の吉村順助氏より設計書を携帶して赴南したるを以て同地の有志者は其の説明を聽かんが爲め一兩日前民團役所に會合したりと云ふ

●**貞信女校卒業式**　東署管内なる貞信女學校に於ては二日午後より卒業式を舉行したるが李學相其他學部高等官等列席したり

●**兩少佐の送別會**　近々内地に榮轉すべき軍司令部宮地、石川兩少佐の送別會は今四日午後六時半花月に於て催さるゝ由出席者は五十七名なりと

●**微笑會の例會**　大和町三丁目の國會に於ては本日午後八時より例會講演ある由なり

●**宮地少佐の歸任**　軍司令部宮地少佐は臨時派遣隊輸送に關し釜山に出張中の處三日歸任す

●**山本芳甫氏の東上**　日本電報通信社京城支局員山本芳甫氏は社用を帶び往復十日の豫定にて今朝東上したり

●**密漁船の近況**　朝鮮海水産組合龍岩浦支部より其筋に提出したる最近の報告に依れば同地方清國の密漁船は一時約百隻も入り込み益々增加の趨勢なりしも近頃は頓に其の形勢一變し漸々減退の有樣なるが是れ蓋し日韓漁業者の續々增加せると日本水雷艇の派遣せらるゝとの世評喧しきに依り他に轉じたるが故なるべしと而して日韓漁業者の密漁船も時々出沒して直接要塞又は大連方面に逃走せんとするものあるを以て之れが取締りの爲め同支部は理事廳へ交渉し直接安東縣の領事に事情を縷述し巡邏船の小蒸汽船を大和島近海へ派遣し巡邏せしめつゝありといふ

公人私人

▲佐下準次郎（滿州金融組合理事）三日入京三日月へ
▲寺尾政篤（釜山貿易商）同浦尾へ
▲乘松吾之（清國駐屯歩兵大尉）同上
▲小松林藏（東京建物會社長）二日釜山へ
▲長野篤敬（歩兵大尉）同日龍山へ
▲西島新藏（東拓水産技師）南海岸視察の爲め今朝出發す

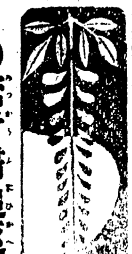
近事片々

▲東京●　に於ては新統監の發表手間取り城に於ては保護政治顧る閑散從て民心[illegible]
▲綠泉●　李拿綠蔭深く主公に長らく見放されし庭園の草樹獨り得意顔に伸びつゝあ[illegible]
▲閑保●　先生唯東天を眺めて鬼角落付かず事務は手に附かず後圖を案ずる耳とは異[illegible]
▲湖南●　鐵道は十二萬餘圓を以て買收せる事に確定せりと報せらる果して眞なり[illegible]
▲談鑑●　譚は李允用閣内實業務午謀が早くより權利を得たるも工事は更に運[illegible]
▲日韓●　事件の賠職代議士横田虎彥も關し居れり放任せば工事は到底出來ざるべ[illegible]
▲買收●　して急速布設の必要はあるも唯收價格か果して正鵠を得るや否やが問題[illegible]
▲米國●　前副統領フ氏夫妻隈伯を訪ひ日露媾和を試む伯例に依て巧妙の舌を振[illegible]
▲フ氏●　曰く戰後に委員を派し和局を講んより戰前和協こそ肝要也とは奇拔の言[illegible]
▲何と●　云ふても隈伯は巧い者外賓にし[illegible]
▲此點●　に於て隈伯は確に世界的人物時霞ヶ關を訪はざるも隈邸を訪はざる者[illegible]
▲西園●　寺侯曰く桂は無知才餘り世功により霞ヶ關以上の働をなす日本の名物[illegible]る乃公の悠遊圖に及ばすと近來の怪[illegible]
▲桂園●　互に表面默契を約して裏面に小合を試む龍虎の爭ひ何れが傷く可き面白[illegible]
▲政友●　會員學國候に貴族院の操縦を迫候昂然我黨下院過半數未だ安定せずと[illegible]
▲桂侯●　上院に據り園侯下院に據る宛然スレーりとグラッドストンとの趣きある[illegible]
▲岩府●　駐在の各國大使は前七帝より政せりとの風說あり事實ならば全く世は未[illegible]
▲同國●　も同じ彌陀や基督やマホメット光よりも黃金の光は効顯いやちこ穴怖ろ[illegible]
▲秘露●　首都に革命軍起り勢ひ殺く終に統領を擒にせりとの飛報血腥き事例多き[illegible]
▲共和●　政體でも尚ほ暴力に訴ふる必要あか恐らく社會黨の如き徒黨の蜂起ならん[illegible]
▲貧民●　窟で名高き東京下谷萬年町に近某なる奇特の小學教師有貧民教育に從事[illegible]
▲貧民●　の爲に圖書館通俗講談會を設くに妖怪談を資料とし[illegible]

제126호 1909. 6. 4.

●平壌市街地圖調製　平壌郵便局にては從來使用せる平壌全市の地圖が完備せざる點ある爲め平壌測量學校實測の地圖に則り之を六千分の一に縮圖して新調する事となし目下其の調製に從事中なりと云ふ

●賊徒討伐彙報　江原道楊口狼川分遣所憲兵二補助員五は五月十九日華川郡内に於て賊約十と衝突之を潰走せしめ銃一刀二を鹵獲す追擊し翌二十日華川楊口郡界附近に於て再び之と衝突一を殪し首魁一を捕へ銃二を鹵獲す▲全羅北道月城分遣所憲兵二補助員三は五月廿九、同地西方約二里の地に於て銃器製造中の賊約三十を討ち五を殪し銃十九其他材料器具等多數を鹵獲す▲咸鏡南道下碣隅分遣所憲兵一補助員四は五月十三日長津郡内に於て賊八と衝突之を潰走せしむ▲忠清北道丹陽分遣所憲兵三補助員六及同地巡査三は五月二十日同地南方約五里の山中にて賊約七十と衝突潰走せしむ▲江原道栗實里分遣所憲兵三補助員二は五月十九日同地東南約七里の山中にて賊十八と衝突之を潰走せしむ▲忠清北道清風分遣所憲兵三補助員四及巡査二は五月二十五日同郡内にて賊約百と衝突六を殪し銃一を鹵獲す



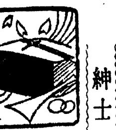
●密行婦追返さる
▲仁川から芝罘迄の往復

仁川港に一昨日入港せる芝罘通ひ船第十共同丸の船長森崎作藏なるもの昨日仁川署に訴ふるらく熊本縣天草郡生れの中村せい(二〇)吉田まき(三〇)金子きくね(二二)の三名は芝罘より乘船したるが所持金十六圓五十錢よりあらざりしかば十圓を内入金となし殘金は仁川にて支拂ふ約束にて乘船し來りたるものなれば右れ屆すとありたれば仁川署巡査は先づ本署に同行して取調べたる所前記三名は密行婦として芝罘に到りたる所芝罘領事館警察官に發見せられ仁川に追ひ返されたるものなること判明したるが其の次第を聞くに前記三名は國元の不景氣に思はしきこともなき儘三人申し合せ手に手を取りて去月末仁川に來り花屋旅館に投宿して行く先き等考へてありしが同宿する同縣生れの堀田美實(三四)が芝罘に行けば樂して金が儲かると甘い話をしたれば前記三名は脆くも美實の口車に乘せられ芝罘に行く氣になり去月二十六日きくねは三十圓、まきは二十五圓まきは二十六圓と各所持金を懐にし堀田に連れられて芝罘に至り同地愛國亭に二泊する中警官に發見せられ共同丸にて追ひ返されたる始末判明したれば警官は種々說諭を加へ身を堅める樣注意して引き取らしめたりと

●初夏の新町遊廓
▲女郎と仲居の棚卸し

不景氣とは申し乍ら流石は花柳街、樓上樓下雪洞の花を咲かせ前栽の老櫻稚松遣り水に翠の色濃く、伊豫簾かけたる妹が窓洩るすがゝきの音も涼しく粹士の御入らせを待ち居候は何樓も同じく毎夜のこと〻御承知下され度候●一昨夜も晩食後の腹こなしと程遠からねば齒に挿まつた香物の滓をホヂリ〳〵咬へ楊子で散歩と出掛け申候、其節目に止り耳に障りたる一二御報導申上候●山遊樓は正面に盆栽を行義正しく置きたるを背後にして一列に居ならびたる内に一妓の大ハイカラ當人の氣取つて居るだけ氣障澤山其他は伎聞普通の人間の樣に見られ申候●京城樓の妓輩は不行儀なること申す計りもなく首を鳩めて摘み食ひ二階の樓下から素見客の月旦にのみ耽り居候醜体は毎度のことなり主人たるもの注意せられたく候●第一樓支店にては右近を初め誰か袖、花人等腰ッ骨に鞭をかけて色餓鬼の濟度に餘念なく相隣の繁昌とは目出度き事に候●同本店にては大立物の都路病氣歸國したる爲か店に活氣なしとは嘘と思へば間違ひなかるべしと存候●清月樓の新線入妓を交へて中〻の好況なる文之助を初め筆助、桃太郎、黨等の嫖客のへトへトになる迄待遇か爲なりとは君子の恐れて近寄るべからざる所に御座候●大樹屋は相變らぬ白糸、鈴木主水と云ふ色男も拵へず後生大事に勤めるから他の妓共も負けぬ氣で働くから貧乏も追つ付かずさは結構に候●高島屋、井門支店共に勉強の効顯はれて上景氣●松榮樓は妓共に言ひ分なけれども仲居の無愛嬌なが疵に候●曾春樓の仲居中モト、アイ、ムメ等の佛頂面見るも癪に障る樣なり中にもお職の小くのが僻なれども臭い内にも何處となく又捨て難い値打があると御贔負筋での言ひ解を聞きたるまゝに御注進(廓雀の子)

紳士の遊興振
▲山口太兵衛君



東郷大將の俤ある君は大將と同郷の鹿兒島出身で早くより渡韓し種々の事業に從事して一家の基礎を樹て曾ては商業會議所會頭ともなり常に兩會議員として大に公共事業に盡力し殖民地の發達に努めて居るが其中にも尤も著しきは彼の京釜鐵道創設に際し殖民地を代表して時の外相大隈伯を說き落して贊成を得た事である、若しも大隈伯が彼時贊成せざれば同鐵道の敷設は今少し遲れたかも知れぬ、斯くの如く君は半事業家で半は有志家で東奔西走するに從つて屢々交際酒も呑む樣になり酒量は中々多い併し君の遊興振として傳ふべき者があるや否やと云ふ事は幾十年間君と交際せる人とても恐らく知つて居る者は無からふ其れは君が鹿兒島武士の俤を止め容貌の魁偉なるを以て一寸窺ふ事が出來ぬからだ處が一方に勇者は一方に優しく殊に薩摩隼人は物の憐れを解する事が一層深い其處で君は二三の親友坏と少宴を催せし時興起れば忽ち京城の花柳史を說く而して其說く處興味津々並居る藝妓達も顏色なしてある時に會心の場合には三味線抜きの義太夫で太閤記の尼ケ崎を唸る「夕顏棚の此方より現れ出たる」は其匿し藝とでも云ふべく時に又お國獨特の薩摩琵琶も出る事があるが要するに君の遊藝は決して儕輩を抜くと云ふ程の者ではない、併し君が幾十年間京城に居つて花柳史に通ずるに拘はらず更に花柳の空氣に感染せぬ大隈伯を說破した雄辯は遂に藝妓を口說く爲の者ではなかつた、井上宮内府書記官

●金と云ふは三十三歲の大年增、年にも耻ぢぬ若作り時候の爲で氣が變なか縮緬皺を白粉で塗り隱しハイカラ頭に白のリボンの奉納手拭程もある奴をヒラツカセたるが客に向つて惡口の出放題「貴郎なぞに口を聞く樣な安い私ではありませんよ」とツンと濟ましたが所なぞ自分では好い心算か知らねど根つから榮へない女郎振り、夫れにお職を張つてるのは生れ付いての助平なるが爲めなりと申すことに候同樓の玉助は寢屁を放

●散髪の居催促　南大門通一丁目濱西方同居石灰製造業森内末藏(三〇)は一昨夜午後十一時過非常に酩酊して旭町一丁目理髪業松井すぎ(三六)方に至り散髪を乞ひしも酩酊者は危險なりとて拒絶せしに末藏は大に立腹し散髪する迄は一寸も動かずとて店の間に腰を卸して更に動かざるのみか頻に暴言を吐くにぞすぎは此旨南部署に訴へしかば巡査出張し同署に引致醉が醒めて放還

●拔刀で乘込む　仁川仲町一丁目永石組の團平船乘組員十四名許り一昨日午後車座になつて酒宴を張り居る最中へ榮組の團平船乘組冲新松(三二)と云ふが短刀を閃かして酒を飲ますか飲まさぬかと脅迫して居ることを仁川署の警官が探知し直に出張し新松を引致し取調べたる所全く酩酊の結果にて別段惡意のあらざりしこと判明したれば說諭の上放免す

●不得要領な喧嘩　一昨日午後六時三十分頃長谷川町二丁目大觀亭前に於て日本人と韓人の喧嘩ある旨訴ふる者あり同洞派出所より巡査出張したるに一人は日本服を着したるも韓人にして西部三十一統李根成(十九)今一人は西部嗎洞金興伊(三八)の兩人は例の朝鮮式で不得要領の喧嘩をなしつゝありしを說論して引分け

●仁川韓妓の檢梅　仁川韓妓の檢梅は一昨日勵行せられたるが總員五十名の中病氣にて不參のもの五名ありたる外別に異狀無し

●公判だより　今四日法務院に於ける公判左の如し
一民事(午前十時)一、貸金上訴人西田慶太郎被上訴人吉田豊八二家賃金及賣掛代金請求上訴人加瀨和三郎被上訴人本庄咲代
一刑事(午前十時)一、官文書僞造行使等野口慶三郎 二、盜贓故買三浦菊太郎

醫師の勸告に依り一定の期間禁酒す　森柳江

●歌舞伎座　本日の替りは一番目「警吏の苦心」二番目喜劇「アイラブユー」二冊にて役割左の如し
原田刑事、醫師花井明(伊井)鐵砲幸太(稻垣)子分八ム(泉)山岡金左衛門、淺井正太郎、海田院長(原田)大村部長(屯田)漢方醫德庵(大崎)井上次郎(金澤)看護婦園田(川上)刑事(河合)原田妻れよう(た新)交換手砂田あめ子(吉田)山岡金之助、平田英造(高島)劍客土益田榮三(長木)子分吉公(久保田)令孃花子(東)父淺井正兵衛(酒田)巡査井上太郎、毛虫源太(北村)森署長、杓根田五郎(光本)丁稚三吉(子役)

▲編輯除錄▼　一昨夜の火事騷動から俄かに火の用心を口にする樣になつた、恥の附近に支那人が澤山居るが誰も彼も不注意な連中計りで困る、編輯局の横手の支那人は二階に鉋屑を澤山積んで居るが是等も危險な話だ、まだ〳〵其の家の便所から汚水が道路に流出して居る警察から注意かして欲しい▲柳江子は近來甚だしく腸を害し醫師の勸告に依り本日より斷然禁酒と宣言した、永續すれば結構だが▲茲二三日は頗る暑く日中華氏寒暖計八十五度を示す



平民文庫
捏造中傷無用のこと
小便も亦御斷り申候

▲電話番號判斷○電一一八七(石川表具師)一一八七はマア「宜しいぢやないか」と云ふ意なり表具師などゝ云ふものは氣が向けば仕事をするが氣がない時は十日が二十日でも仕事をせぬ其處で誂へた人は度々催促をすると「マア宜しいぢやないか」いゝわないゝわなと日を送る併石川氏は評判の表具師の事とて日々繁昌するとはテモ目出度し(閑羅道人投)▲記者さん仲檢の姐さん達が同盟して今次逢つたら引ッ搔いて遣ると騷いで居ますよ(出前持)▲御親切は忝けねだが何に彼奴輩に其樣な意氣地があるものか例之有つたにした處で驚かない椋助生れて五十二歲になるが女ッ子に引搔かれた事がない何も咄の種だ美事引つ搔かれて見る哩と力味返つて居たと言傳云ふて下されよ(椋助)▲御近火の節は嘸吃驚なさつたでしようね夫れでもマア格別の御損害も無かつたとか聞きましたれ芽出度う存じます記者樣(友江)▲御叮嚀に有り難う存じます、皆樣の御蔭を以て類燒を免れました御禮を申します(記者)▲日本人の癖にヨボを乘せて汗ダク〳〵で駈け歩行く車夫がある何も自分も好んで爲るのでも無からうが無慘なものだ(社會黨)▲日本人と韓人とを五分〳〵に扱ふのは不都合だ、礦石の値段で鍊金で賣り拂ふ樣なものだ、愚なる骨頂だ(齒笑子)▲僕の友達に何を見ても直ぐに慷慨する人がある箸が轉つても晴涙を催す『双箸猶且つ意の如くならず、天下の事』とか何とか言つて、先月も下宿屋の主人が先々月分の宿料を下げて呉れと云つたとて斯う云つて怒つた『今迄はチャン〳〵と拂つて遣つてる一月分や二月分滯つたからとて催促するとは何んだ君も日本人ぢやないか』と、下宿屋の主人叩頭して曰く『今迄拂て頂いた分と未だ拂つて戴かん分とは別々で……』とすると又怒つた『ちや恩は恩仇は仇と云ふのかソンナ正直な人間が我同胞中にわるかと思ふと暗涙を催さゞるを得ない君の所は今日限り轉する……勘定は拂へるか』(孤軍奮鬪生)▲現金なる本願寺の一文記者樣に感謝します開祖の眞精神を沒却して經を賣り法を賣りて糊口の資種にするデモ坊主のズーズーしさこと實に獅子身中の虫です時々健筆を振ひてデモ坊主等を殺戮し玉はんことを祈ります(愛法生)

廣告

●天氣豫報(自三日午後六時至四日午後六時)
南西の風晴後曇
二日　最高温度 八八、五　最低温度 五八、一(華氏)

●農商工部度量衡課龍山分室附屬建物改修工事
右六月九日入札ニ付ス詳細ハ三日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ
建築所

●學部次官々舍表門及板塀其他新營工事
右六月十日入札ニ付ス詳細ハ三日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ
建築所

●工業傳習所下水改造其他工事
右六月十日入札ニ付ス詳細ハ三日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ
建築所

●南大門内裁判所官舍敷地々均工事
右六月十日入札ニ附ス詳細ハ三日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ
建築所

●蔚山警察署廳舍修繕及警部官舍增築其他新築工事
右六月十日入札ニ附ス詳細ハ四日以後ノ官報又ハ當所若クハ釜山出張所ノ揭示ヲ見ヨ
建築所

●農商工部一號官舍附屬物置其他新設工事
右六月十一日入札ニ付ス詳細ハ四日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ
建築所

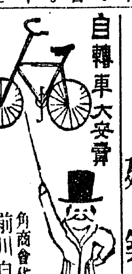
●大和町内部官舍新築及敷地々均工事
右六月十一日入札ニ附ス詳細ハ四日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ
建築所

●農商工部廳舍新築及敷地々均工事
右六月十二日入札ニ付ス詳細ハ三日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ
建築所

●内部廳舍新築工事
右六月十二日入札ニ付ス詳細ハ三日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ
建築所

●成川警察署各建物模樣替修繕及警部官舍其他新築工事
右六月十一日入札ニ附ス詳細ハ四日以後ノ官報又ハ當所若クハ平壤財務監督局ノ揭示ヲ見ヨ
建築所

●慶州警察署廳舍及警部官舍修繕增築其他新築工事
右六月十一日入札ニ附ス詳細ハ四日以後ノ官報又ハ當所若クハ釜山出張所ノ揭示ヲ見ヨ
建築所

自轉車大安賣

角商會代理　前川自轉車店　京城南大門横

腦病に服藥は大敵
腦病神經衰弱ヒステリー症に罹り徒らに服藥や安静療養を貪りつゝ淋しき月日を送る人は効驗卓絶なる本劑を試られよ
藥價　吹霧器付三劑金六圓　一劑廿五日分金二圓　半劑十日分金一圓　試用凡五日分凡五十五錢

腦神經系病專攻　腦病利尿二先生發明
新藥　腦鼻液
主治効能　腦病、神經衰弱症、血の道、癲癇、ヒステリー症、頭痛、逆上、眩暈、耳鳴、記憶力減少、肩の凝、肥厚性鼻炎、不姙性、中風、鼻茸、其他音聲の惡き等に特効あり
●本劑には特に其攝生法を明記添附す
腦鼻藥元祖　東京市日本橋區濱町二丁目(大川端)　壽仁堂藥房　電話浪花四五一五番　振替口座東京一一九九四番
●無効の類似品あり登録商標に御注意あれ

旅館　西洋料理　京城ホテル
南山町
御食事は和洋共御好に應じ申候
大食堂の外輕便なる新築小食堂あり御來駕奉願候
長電一二三　電四九二

巻煙草

京城　廣江商會　電話五七六番

開業御披露
ビヤホール　共樂園
本町二丁目本町座跡
庭園の閑雅なる器具の淸潔なる待遇の懇切なる價格低廉なるは共樂園の誇こする所なり

高商大波瀾の眞相收めて本誌に在り
實業之日本
六月一日發行　拾貳卷八號
◎實業界に轉じて後悔せる小學教員……文學博士谷本富
◎人生の危機は如何にして避くべきか……新渡戸博士
◎廿五歲までに廿回入獄せる青年の悔悟
◎時計店開業法……服部
◎時計店主……不平客に滿足を與ふる法
◎食村侯爵の一人傑……村井吉兵衛氏の使用人觀
▲學政の禍源を撲滅せよ……大隈伯
▲教授辭職の理由……前高商教授佐野善作
▲教授を辭し乍ら講師を承諾せし理由……同關一
▲商科大學問題に對する立場……同瀧本美夫
▲文部大臣に與ふる書……高商同窓會員土屋長吉
▲高商學生の進退は武士的なり……(社論)
◎店員の全力を發揮せしむる最新法……眼と心を集注せしむる廣告法
◎京都の實業家見立……破產に瀕したる奮鬪家
◎如斯不心得の主人に感心な店員……増田義一
◎新渡戸博士「現代社會觀」本號より現る
◎大坂事業界に活動せる人物……都倉義一
東京京橋南紺屋町　電話新橋八七四番　實業之日本社　振替貯金口座參貳六番　賣捌各地書店

●眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せざる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

各種 洗濯石鹼 專門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用

京城旭町二丁目 (電話九七三番)

朝日石鹼製造所

謝近火御見舞

昨夜近火の際は早速御駈付被下御警戒に預り幸にして類燒を免れたる段難有御禮申上候一々拜趨御禮申述べくの處混雜中尊名伺洩れも有之候儘茲に以紙上御挨拶申上候

追て幸ひに工場等に何等異狀無之新紙刊行に毫も差支へ無之候條御安神被下度候

六月二日 西小門通 京城新報社

謝近火御見舞

昨夜近火の際は早速御駈付被下難有奉感謝候混雜中尊名伺漏も可有之不取敢以紙上御禮申上候

六月二日 西小門通り シンガー裁縫機械會社

謝近火御見舞

昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉深謝候混雜中尊名伺洩も難計不取敢以紙上御禮申上候

六月二日 西小門通り 菅醫院 (電話九六〇番)

謝近火御見舞

昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉感謝候混雜中尊名伺漏も難計不取敢以紙上御禮申上候

六月二日 京城長谷川町 江川活版所

謝近火御見舞

昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉謝候混雜中尊名伺洩も難計不取敢以紙上御禮申上候

六月二日 太平町一丁目 太平湯

謝近火御見舞

昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉深謝候混雜中尊名伺洩も難計不取敢以紙上御禮申上候

六月二日 西小門通り 橫濱亭

謝近火御見舞

昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉謝候混雜中尊名伺洩も計りがたく不取敢以紙上御禮申上候

六月二日 太平町一丁目 初音亭

謝近火御見舞

昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉深謝候混雜中尊名伺洩も難計不取敢以紙上御禮申上候

六月二日 西小門通り 日の出亭

謝近火御見舞

昨夜近火の節は早速御見舞被下難有御禮申上候

六月二日 西小門通り 東京樓

東洋總代理店



京城支店 原派

電話 壹壹八〇 九四番

警視廳許可濟飲料 氷 卸小賣

◉代價百匁 付壹錢貳厘◉城市内無賃にて迅速に配達仕候

京城永樂町二丁目(赤門横) 電話九八五

吉田氷販賣部



弊樓儀開業以來四方御客様方の御引立に預りまして家運益隆盛に赴き茲に五週年を迎ゆることゝなりました、就ては聊か自祝の印として六月一日より玉代、糸代、料理代等一切大に値下げの上精々勉強致すことゝ定めました、願くは舊に倍して御來車の程希上ます

新町遊廓 井門支店 (電話三五九番)

營業科目

活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞版 諸帳簿 製本裝釘

今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築移轉仕候間倍舊御愛顧之程奉願上候也

日韓印刷株式會社

本社 京城明治町三丁目 電話(三三三番)

東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

龍山 東山の手柳町

萬長旅館

電話四〇〇番

懇切敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セズ)

京城旭町二丁目六十七番戶

辯護士 岡田榮 (電話三九八番)

夏物大賣出し

五月廿八日より六月廿日迄大割引販賣仕候間續々御購求あらん事を

衣服類、洋物雜貨、文具、履物類其他何でもあります

龍山元町三丁目銀行西隣

分 寺岡商店

正派薩摩琵琶研究會

右は今般左記の處に於て來る六月一日より斯道を敎授す希望の方は至急申込あれ

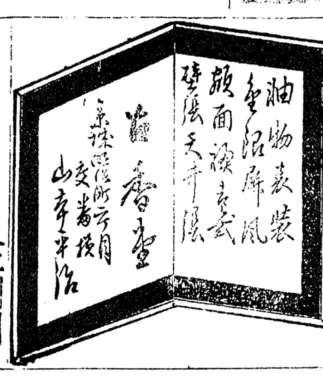
京城壽町一丁目十八番戶

會主 有馬眞熊

滋養と牛乳 衛生と消毒

純良 牛乳 馬車配達

京城四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番



工場新築落成に付當分の間 三割引

明治廿年七月創立● 資本金一千萬圓

東京火災運送海上保險株式會社

京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

消毒 殺菌 牛乳

京城大和町壹丁目

千山牧場

電話一三三

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店 (電話二五一番)

和洋酒、精酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛各種特約販賣

尚御望に依り商品切手調進仕候



入院隨意

諸般之設備を改善して一般診療に從事す

漢城病院

院長 內科部長 安藤一郎

副院長 外科部長 醫學士 鶴田善重

產科婦人科部長 醫學士 山添喜代藏

耳鼻咽喉科部長 石田誠

診療時間 每日自午前八時至午后二時 但每日曜大祭日休業

眼科花柳病科專門醫は不日着任仕候

入院隨意

▲淸潔の下宿▼

客室の淸潔と調理の美味と御扱の懇切こを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戶橫小路 (元花屋跡)

▲懇切の下宿▼

かめ屋

會席御料理



本町八丁目 富士見樓

卸 小賣 新茶賣出し



京城本町五丁目

富士の里茶舖 電話九九七番

焦心單志多年爲斯道難於微奥旨恍然似有得者匪醫推臆斷啖啖茫洋辭愈涸腦素面輕輩也

易斷觀相敎授 京城本町五丁目

通信判斷一件一圓 時別二圓

三一館

大韓醫院御用 消毒 純良 特定御用

牛乳

荒井牧場 電話一〇五六番

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕店 電話九三番

◉釜山長崎門司神戶行 山東丸 六月六日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 六月 日正午時出

◉大連、大沽、牛莊行 山東丸 六月二十二日前五時出

◉大連、大沽、牛莊行 酒田丸 六月十七日正午出

◉釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 六月十六日午後

注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月金四十錢▲三ヶ月金壹圓▲六ヶ月金貳圓▲郵稅一ヶ月金[illegible]

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別廣告五號活字十九字詰一行金五十錢

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久四郎

發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番